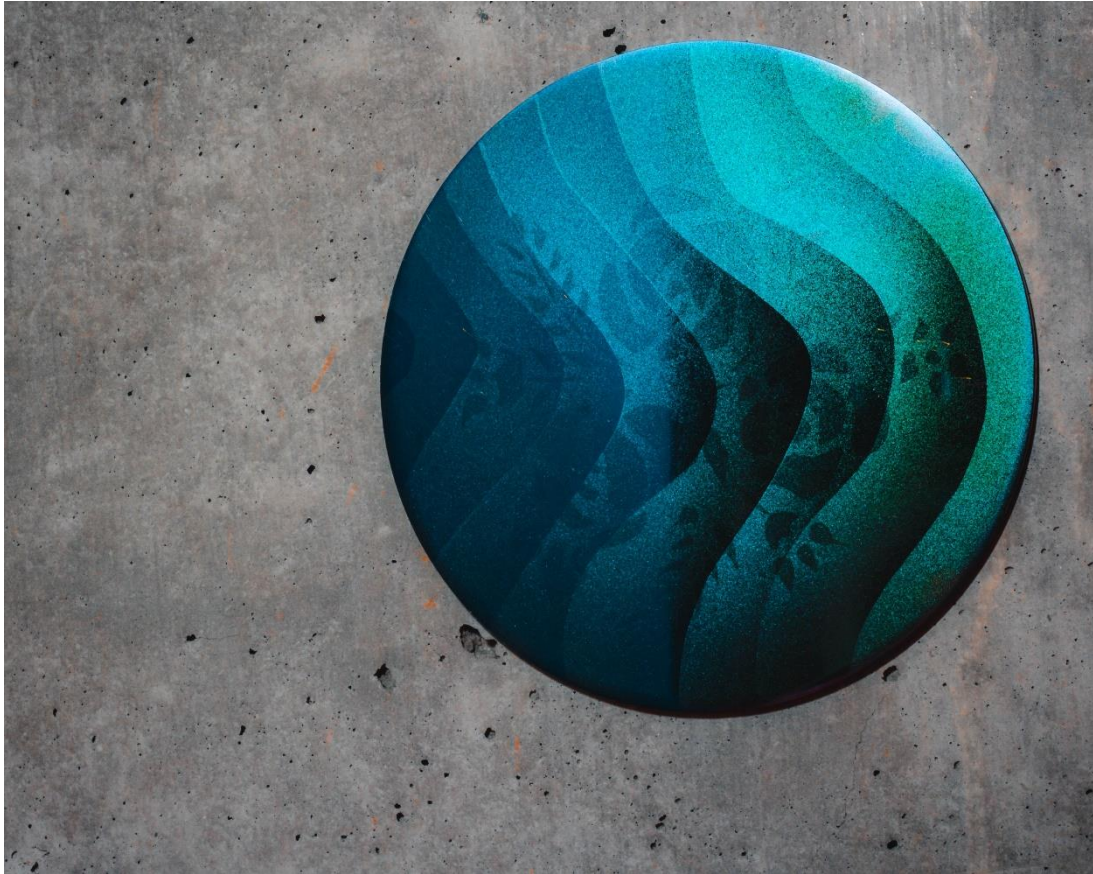


## 「自分たちのものづくりブランドを世に広めたい」

### 自社技術の更なる用途開発に向け、パートナーを探す企業

株式会社田中商店が打ち出す、「この世にないモノを生み出す」をコンセプトとするものづくりブランド「INTOVENT（イントベント）」。その技術を用いた製品開発を進めるべく、シエグテックを活用してパートナー企業を探索している。



▲ ステンレスカラーリング技術の試作品。表面には職人のハンドワークによるアート研磨が施されている。

#### 様々な技術を持ったものづくりブランド

見る角度や光の当たる角度によって、シャボン玉の表面のように絶妙にその色を変えるステンレス。実はこれは、表面に色を塗っているのではなく、ステンレスを覆っている皮膜の厚さを調整することにより、その色合いを変えるカラーリング技術だ。この技術自体は昔からあったものの、工程や皮膜成形に課題があり日用品に応用することは難しいとされてきた。それを解決し、あらゆる製品への応用を試みているのが、東大阪市に拠点を構える株式会社田中商店だ。

「会社自体は私のおじいさんが作りました。創業は戦

後直後、設立は1982年なので、ちょうど今年で40年ですね」。そう話すのは、開発兼営業を務める田中崇善さん。

もともと田中商店は、ステンレスをはじめとする素材の加工・販売を行ってきた。その中で、田中商店が「この世にないモノを生み出す」をコンセプトに打ち出しているのが、ものづくりブランド「INTOVENT（イントベント）」だ。INTOVENTという名前は、「innovate（革新する）」をもじってつけたとのことで、冒頭に紹介したステンレスカラーリング技術の他にも、水性完全無機のコーティングや、繊維に特殊コーティングをすることでそのスペックを強化する技術など、様々な分野の技術が含

まれる。

## 「INTOVENTをもっと広めたい」

INTOVENTをもっと広めていきたいとの思いから、田中商店がジェグテックに登録したのは、2022年2月のことだった。「INTOVENTに関する技術はまだ研究段階なので、製品化しても価格面ではまだまだ高くなってしまいます。製品が一つでも量産となれば、価格を抑えることができるのではないかと考えまして、そのため少しでもチャンスを広げたくてジェグテックに登録しました」。もともと他のマッチングサイトにも登録していたが、「他にも何かないか」と思って検索をしたところジェグテックの存在を知り、早速登録して使い始めたという。

## 登録直後から積極的にジェグテックを活用

田中商店は、登録直後から他企業の様々なニーズに対してかなり頻繁に提案を行っており、2022年5月には、水性完全無機コーティングについて自ら用途開発ニーズを発信し、新しい用途と一緒に開発してくれる企業の探索を行った。このコーティング技術は、塗って拭くだけで誰でも簡単にムラなく施工することができ、いろいろなところにコーティングすることができるという優れたものだ。発信したニーズには1か月の募集期間で6社からの提案が集まり、うち2社と商談を進めることとなった。さらに7月にはまた別のニーズも発信するなど、積極的にジェグテックを活用している。

「ニーズを発信すること自体にはハードルは全然感じなかったです。ニーズの掲載方法についてわからない部分もありましたが、そこはジェグテックを担当する専門家の方がサポートしてくれて、嬉しかったですね。提案も発信も、それを行うことで様々な分野の企業とWeb会議でコミュニケーションが取れることが、一番の魅力です」と、田中さんは話す。

## いずれは INTOVENT を海外へ

今後も INTOVENT をさらに広めていくことが、田中さんの今後の展望だ。その取組みの一つが、奈良県の老舗酒造メーカーとコラボしたジン専用のステンレスボトルについてのクラウドファンディング。カラーリング技術によって虹のような不思議な色合いを持ったボトル

は、その見た目の美しさだけでなく、ステンレスが紫外線の透過を防ぐため、中に入っている飲み物の味や香りの劣化も防ぐことができるなどの優れた点を持つ。

いずれは国内の企業のみならず、海外メーカーともつながっていきたいという田中さん。「個人的にシンガポールが好きなのもあって、例えばシンガポールのお茶メーカーと連携して、INTOVENTの技術を使った茶器を製造・販売したりできないかな、なんて思っています」と将来の意気込みも話してくれた。

ジェグテックでのパートナー探しやクラウドファンディングの実施など、田中商店は様々な場やツールを活用しながら INTOVENT を積極的に情報発信している。既存のものにこだわらず、常に新しいことを見つけ自ら動いていくことで、田中商店そして INTOVENT は、これからも多様な広がりを見せていくのだろう。



▲ 田中さん（左）と社員の根来さん。手にしているのは開発したステンレスボトル。

## 株式会社田中商店

所在地：大阪府東大阪市中鴻池町 3-4-7

代表者：田中 信行

設立：1982年1月

従業員数：10名

事業内容：金属材料の技術総合商社

ホームページ：<https://intovent.jp/company/>

ジェグテックページ：

<https://jgoodtech.smrj.go.jp/ja/web/page/corp/-/info/JC000000037788/appeal/jpn?get-similar-corp-id=JC000000037788&freeWord=田中商店>



## 御社の「ニーズ」を、ジェグテックで発信しませんか？

「ニーズ」とは、「他社と協力して技術・製品の開発を進めたい」、「自社の技術・製品の新しい用途を見つけたい」など、御社が「～したい！」と考えていることです。ジェグテックでニーズを発信することで、御社の課題や悩みの解決につながるビジネスパートナーを探すことができます。